

和牛の肥育用具 使って



和牛用骨盤計など牛の肥育用具を寄贈した
吉田欽一社長(右端)＝美濃加茂市本郷町、
加茂農林高校

肉のキングと東濃信金 加茂農林高に贈る

食肉販売業「肉のキング」

(御嵩町中)と東濃信金

金庫(多治見市本町)は、

同社が発行したCSR(企

業の社会的責任)型地域エ

ール私募債の感謝債を活

用し、加茂農林高校(美濃

加茂市本郷町)に和牛用骨

盤計など3種類の牛肥育用

具(10万円相当)を寄贈し

た。

感謝債は、同金庫が受け

取る手数料の一部を使い、

発行企業が指定する学校な

どに物品を贈る私募債。

肉のキングは、県が誇る

ブランド牛肉の飛騨牛を販
売しており、次世代の生産
者育成に寄与しようと贈呈
を決めた。

寄贈したのは、肥育牛の
腰回りを計測して成長度合
いを確認する「和牛用骨盤
計」、子牛に乳を飲ませる
「哺乳バケツ」、鼻輪の穴
を開ける「牛鼻せん孔器」。
中でも骨盤計は高価で、同
校で所有する器具が老朽化
し計測に誤差が出て、困っ
ていたという。

同校で贈呈式があり、吉
田欽一社長(52)は「飛騨牛
は全国や世界に通用するブ
ランドとなった。後進育成
に役立ててもらえれば」と
あいさつした。同校生産科
学科動物専攻3年高木陽香
さん(17)＝多治見市＝、福
田倭さん(18)＝関市＝が代
表して受け取った。高木さ
んは「機器を有効利用して
A5等級の牛を育てたい。
肉のキングに買ってもらえ
たらうれしい」と礼を述べ
た。(沢野都)